

すぐそこに戦争の足音が聞こえませんか？

戦争になれば真っ先に若者が戦場に…
子どもや孫に残したい「平和」の姿をいっしょに考えてみませんか？

最近よく聞く「集団的自衛権」「安保法制」「憲法を変える」という言葉。

なんだか、政府がどんどん先に走っているような、知らない間に何かが決まっていくような不安を感じていませんか？

国の主人公(主権者)は私たちです。若者を戦場に送らないために、子どもや孫にどんな社会や平和な暮らしを引き継いでいきたいのか、一緒に考えてみませんか？

